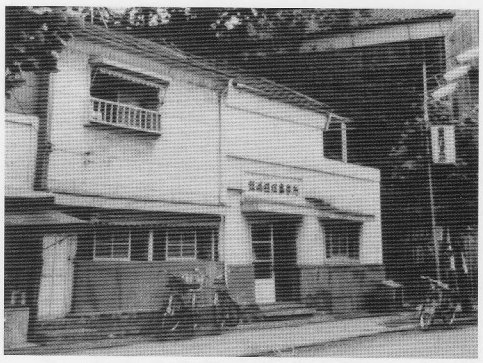
おかげ様で半世紀

昭和21年～平成9年　IKGの歩み



▶飯島経理事務所 深谷事務所

▶設立当初の会議風景

◀飯島経理事務所 行田事務所

▲飯島経理事務所 熊谷本部

1946 ～

昭和21年
計理士登録
飯島経理事務所を埼玉県本庄市にて開業

昭和22年
本庄事務所を深谷市に移転
飯島経理事務所深谷事務所開設

昭和23年
税務代理士の資格取得
飯島経理事務所秩父事務所開設

昭和25年
飯島経理事務所行田事務所開設

昭和26年
税理士法施行により税理士登録

昭和27年
飯島経理事務所熊谷事務所開設

昭和33年
飯島経理事務所 本部を熊谷に設置

昭和35年
飯島経理事務所 経営部を設置
(飯島ビジネスコンサルタント(株)の前身となる)

昭和38年
飯島経理事務所電子計算部を浦和市に設置
((株)アイ・ビー・シーの前身となる)

▲経営部設立当初の幹部職員

1964 ～

昭和39年
北埼信用組合開設、初代理事長に就任
飯島マネジメントマシン(株)設立
((株)飯島綜合経営研究所の前身となる)
近畿日本ツーリスト協定旅館連盟、経営相談室長委嘱
飯島経理事務所経営部を東京虎ノ門へ移転
虎ノ門事務所開設

▲飯島マネジメントマシン(株)設立

昭和41年
(有)湯沢産業(現飯島産業有限会社)設立

昭和40年
飯島経理事務所保険部を独立、(有)栄進を行田市に設立、虎ノ門事務所を近畿日本ツーリスト(株)東京本社内に移転、(社)中小企業診断協会埼玉県支部長に就任

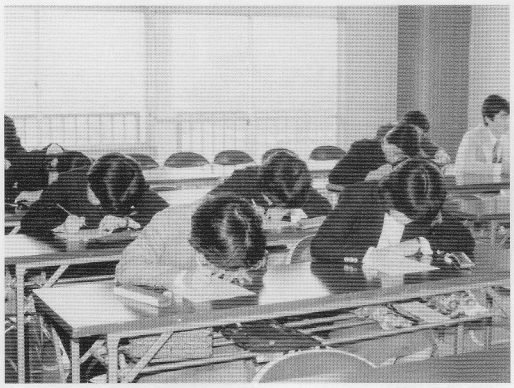
◀飯島ビジネスコンサルタント(株)・上野

昭和42年
飯島マネジメントマシン(株)社名変更、(株)飯島綜合経営研究所設立、飯島経理事務所電子計算部独立、(株)関東計算センター設立、飯島経理事務所経営部独立、飯島ビジネスコンサルタント(株)設立

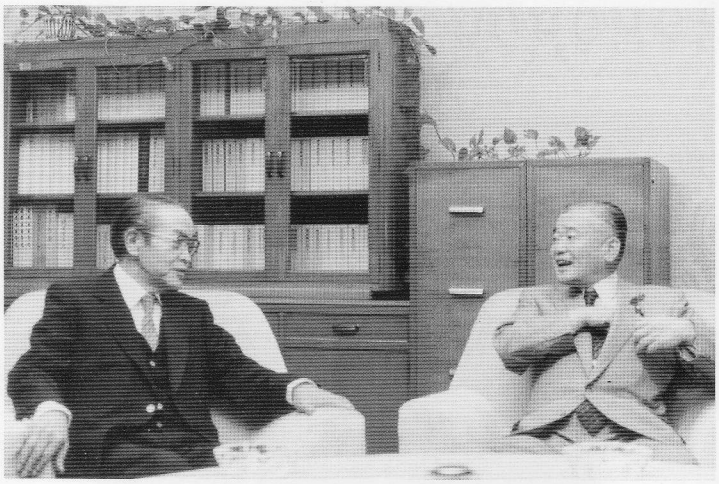
昭和48年
旅館の経営問題研究のため「経営クラブ」発足
(飯島ビジネスコンサルタント(株))

昭和50年
飯島ビジネスコンサルタント(株)業務拡大に伴い、東京外神田に事務所移転

昭和51年
「IBC旅館後継者ゼミナール」開講
(飯島ビジネスコンサルタント(株))


▲昭和54年学卒者入社試験風景

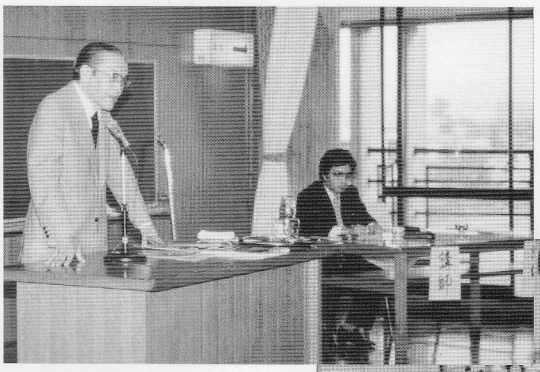
▲昭和30年8月 富浦海岸にて

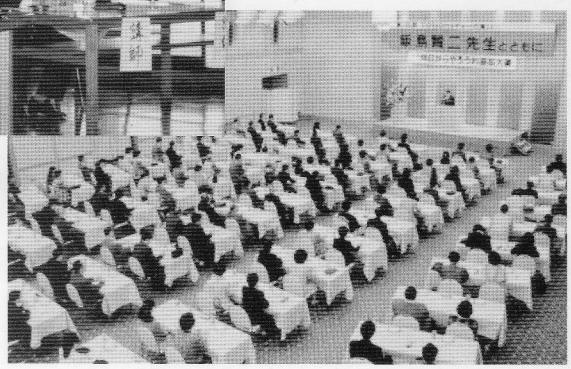


▲昭和59年 竹下元大蔵大臣と語る故飯島岱蔵

▲昭和40周年祝賀会

◀ 昭和61年 IKG本部
新社屋完成





▲旅館後継者
ゼミナールで
講演する
故飯島岱蔵

1977～

昭和52年
経営クラブを「IBCクラブ」に改称
(飯島ビジネスコンサルタント(株))

昭和54年
飯島賢二中小企業診断士事務所開設
飯島ビジネスコンサルタント(株)事業拡大に伴い、東京上野に事務所移転
コンピュータソフト開発部を設置
(飯島ビジネスコンサルタント(株))

昭和56年
関東信越税理士会会長就任
交通公社総合開発(株)より顧問委嘱
(飯島ビジネスコンサルタント(株))

昭和57年
全国税理士共栄会会長就任

昭和60年
日本税理士会連合会会長就任

昭和61年
IKG本部、新社屋完成に伴い、創業40周年祝賀式を挙行、
飯島賢二税理士事務所開設
(株)関東計算センターを社名変更、
(株)アイ・ビー・シーとなる

昭和62年
旅館後継者ゼミナール卒業者を対象にIBC自慢会発足、
(飯島ビジネスコンサルタント(株))
富士通(株)本社旅館システム開発及び販売に関する顧問契約締結

昭和63年
創業者 飯島岱蔵死去 享年69歳 正五位勲三等瑞宝章受位叙勲
飯島賢二 代表取締役社長に就任 ((株)アイ・ビー・シー、飯島ビジネスコンサルタント(株))
(株)交通公社トラベランドと業務提携
(飯島ビジネスコンサルタント(株))
東北ツアーズ企画顧問として業務提携
(飯島ビジネスコンサルタント(株))

▲バブル経済崩壊後の繁栄の道を熱く語る▲

1990～

平成2年
若手経営者の勉強会「業信会」発足

平成4年
飯島賢二行政書士事務所開設
社会福祉協議会IKGコミュニティ発足

平成7年
飯島ビジネスコンサルタント(株)を資本金
1,000万円に増資

平成8年
(協)熊谷流通センターの情報センタービルへの全面移転を決議((株)アイ・ビー・シー)
飯島ビジネスコンサルタント(株)事業拡大に伴い事務所を東京東上野に移転

平成9年
(株)アイ・ビー・シーを資本金4,000万円に増資

◀飯島ビジネスコンサルタント(株)
東京東上野に移転

◀日本TV
「スーパーテレビ」に出演

▶記念職員研修旅行
台湾3泊4日

▶21世紀の経営戦略に向けて
富士通GS-8600モデル
導入予定のコンピュータ